



【密閉式ダイナミック型ヘッドフォン】



左は標準装備のケーブル (3m), 右はオプションの iHP-35X (1.3m) で、φ3.5mm ステレオミニからミニ XLR-F に変換する点は変わらないが、線材に銀メッキ OFC、プラグはロジウムメッキ仕様

【主な規格】

- 感度 (1kHz) : 98dB/mW
- 再生周波数帯域 : 20Hz~20kHz
- 最大許容入力 : 200mW
- インピーダンス (1kHz) : 68Ω
- コード : 片出し3.0m, ストレート (着脱式)
- 質量 (ケーブル含まず) : 約245g
- 資料請求先 : フルテック(株) MJ9 係
〒141-0031 東京都品川区西五反田
7-11-1 第五花田ビル3F
TEL.03-5437-0281(代)
<http://www.furutech.com/>

ADL-H118 アルファ デザイン ラブス

オープン価格 実勢価格約¥20,000

フルテックから ADL (Alpha Design Labs) ブランド初のヘッドフォン H118 が登場した。逆三角形の小型イヤークップが特徴の密閉型ダイナミックヘッドフォンで、手にしっくり馴染む形状で小型軽量設計。イヤークップとヘッドバンドクッションはソフトレザーで感触が良い。キャリングケースが付属し、折り畳んで小さく収納できるので携帯にも便利だ。必要最小限サイズの逆三角形イヤークップは、一般的な丸形イヤークップに比べて無駄な空間が少なく、頭部への密着度が高いため、空洞共振に起因する色付けや低域の音響ロスが少ないという特徴がある。左側にある 3 ピンミニ XLR コネクターを採用したケーブルは着脱式で、入力側にはφ3.5mm ステレオプラグを採用し、φ3.5mm → φ6.3mm 変換プラグが付属している。ケーブルを除いた本体質量は約 245g と軽量だ。

ドライバーユニットは、口径 40mm の特殊ポリマーフィルム振動板に軽量の銅メッキアルミ合金ボイスコイルを接着した振動系で、振動板とボイスコイル間には共振や大振幅時の変形を低減する補強リングを挿入。磁気回路には強力なネオジウム磁石が用いられている。ボイスコイルインピーダンスは 68 Ω で、出力音圧レベルは 98dB/

mW、再生周波数帯域は 20Hz ~ 20kHz、最大許容入力は 200mW という仕様である。

φ3.5mm ステレオプラグとミニ XLR を付けた別売のケーブル iHP-35X (約¥8,000) は、電極にロジウムメッキ銅合金、ハウジングにはステンレスを採用。導体は銀メッキ OCC で、主要導体にはクライオ処理が施されている。

まず付属ケーブルで試聴した印象は、無駄な空間が少なく頭部への密着度が高いイヤークップを採用しているため、口径 40mm の振動板とは思えないほど低域がバワフルで演奏に熱気がある。曲によっては超高域に若干不満を感じる場合もあるが、帯域バランスの良い素直な音質なので音楽ジャンルを選ばない。ケーブルを iHP-35X に交換すると高域の不満が一気に解消されて、これが同じヘッドフォンかと耳を疑うほど劇的に音質が改善される。音の立ち上がりや切れが鋭くなり、低音楽器はダンピングが良くなって瞬発力と解像力が強化され、超生々しい音になるのだ。H118 はお手ごろ価格なのに音質もデザインも使い勝手も優れた力作で、その本領を発揮させるには iHP-35X が不可欠と言えるだろう。(柴崎 功)